

神奈川県立厚木北高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

- 全日制の課程学年制で複数の学科を併置する高校として、普通科においては、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- スポーツ科学科においては、スポーツ科学分野の専門性の向上を図るとともに、実践的・体験的学習を推進し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学力の育成、専門的な技能の習得、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 普通科とスポーツ科学科相互の融和を図り、ハイレベルな文武両道により、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた主体性あふれる人材の育成をめざした教育活動に取り組む。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、不断の授業改善を進めるなど、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 1 ハイレベルな文武両道の学校として、生徒一人ひとりが意欲的に「学習」と「部活動・学校行事」の両面に励むことで、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた主体性あふれる人材を育成する。
- 2 普通科、スポーツ科学科それぞれの特性を活かし、かつ相互に良好な影響を与え合うことで生徒一人ひとりの進路希望の実現と社会的・職業的な自立を図る。
- 3 「健康づくり」「体力増進」と「いのちの大切さ」を基盤とした教育活動を展開することで、健康でこころ豊かな人生を先導し、社会に潤いをもたらす人材を育成する。
- 4 スポーツや文化を通してグローバルな視野を持ち、国際的素養を身につけた人材を育成する。

グラデュエーション・ポリシー

- 生徒一人ひとりが意欲的に「学習」と「部活動・学校行事」の両面に励むことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、それを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力や、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育みます。
- 普通科とスポーツ科学科相互の融和を図り、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、高い学力と豊かな人間性を兼ね備えた主体性あふれる人材を育成します。
- スポーツ科学科では、スポーツ科学分野の専門性の向上を図り、実践的・体験的学習を通してスポーツを科学的に捉える態度と課題解決力も育みます。

カリキュラム・ポリシー

- 普通科・スポーツ科学科それぞれの特性を活かし、文系・理系・体育系・医療福祉系など幅広い進路選択に対応したカリキュラムとしています。
- 学力向上を実現するために効果が大きい習熟度別学習による授業展開により、基礎基本・確かな学力の定着を図ります。
- 普通科では、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に向け、科目に応じた十分な時間数を設定し、主体的に学び行動する力の育成に取り組めます。
- スポーツ科学科では、実践的・体験的学習や高度な実験実習を展開し、スポーツを科学的に捉える態度と課題解決力の育成に取り組めます。

アドミッション・ポリシー

- 規律正しい学校生活を送る校風や教育目標を理解し、主体的に学ぶ意思のある生徒
- ハイレベルな文武両道の実現による心の成長を目指し、「学習」と「部活動・学校行事」の両面に意欲的に励むことのできる生徒
- 目標を持ち努力し続けることで、自らの希望する進路実現を目指す生徒
- スポーツ科学科においては、専門を極める態度と姿勢を有する生徒

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	①普通科とスポーツ科学科相互の融和を図り、それぞれの特性を生かし、教育の充実を図る。 ①探究活動の質を向上させる。 ①習熟度別学習を有効に活用して、学力の向上を図る。 ②生徒主体の生徒会活動・行事運営を行う。	①規律正しく、安心安全な学校生活を維持できるよう指導支援する。 ②部活動や行事を通して、生徒の主体性、協調性を育む。	①職業観を育成し、社会的な自立に向けた現実的な進路指導を行う。 ②総合的な人間力を進路実現に発揮する方法を身につけさせる。	①生徒の学習意欲や進路意識を高められるような高大連携教育を推進する。 ②厚木北高校の魅力を発信し、地域とともにある学校作りを進める。	①地域と連携した防災教育を推進し、生徒が自主的・積極的に防災活動に取り組む。 ②教育の情報化を充実させ、ICTの効果的な活用を図る。
主な方策	①ICTをテーマにした研究授業や教科内研修、授業見学等を実施する。 ①探究活動の組織的な支援体制を構築する。 ①習熟度別学習による個々の生徒に適した授業展開を実施し、PCを活用した家庭学習を勧める。 ②生徒の主体的な取り組みを支援し、施設の制限を見通した企画立をする。	①ヘルメットインフルエンサー事業モデル校として、市と連携して交通安全に対する規範意識を向上させる。 ①教育相談コーディネーターを中心に教員・SC・SSW・外部機関と連携した教育相談体制を整える。 ②新入生歓迎会だけでなく、他の行事を通じて情報発信し、年間を通して入部を促す。	①職業体験活動や講話、出張講義、校種間連携等を活用し、職業観の育成を通じて現実的な進路スケジュールを立てさせる。 ①入試制度に関する職員研修を実施する。 ②キャリアナビプログラムを導入し、キャリアパスポートやスタディサポート、高校での経験等を進路活動に活用させる。	①より多くの生徒が関わられる高大連携の方法を探る。 ②タイムリーにホームページを更新し、厚木北高校の魅力を発信する。 ②運動部の活動を参考に、その他の部活動が活躍できる方法を検討する。	①小中高大地域が連携しての防災活動を開催する。 ②教育の情報化に対応するコミュニケーションツールや教育用アプリの活用事例の収集・共有を図る。 ②1人1台PCについてルールを徹底し、その活用を定着させる。 ②Teamsの活用方法をさらに検討し、推進する。

校訓・沿革・伝統

- 昭和53年全日制普通科高校として開校
- 平成8年スポーツ科学コース発足
- 平成29年スポーツ科学科発足
- 「鍛え学び輝く」を校訓としている。

特色のある学校行事等

- 神奈川工科大学と連携したスポーツ科学科のカリキュラム展開
- 県内成績トップクラスの盛んな部活動